

## 5/26 噴水前紙芝居上演を催して

集合 午後2時          スタンドマイク・自転車・幟・その他の準備の後、簡単なリハ  
チランなどを使って呼び込み

開始 午後3時      司会 大熊啓

- 1 絵本「ぞうれっしゃがやってきた」          大熊          約20分  
        お客さまに見える位置で絵本2冊 持ち手 長尾 本多
- 2 コーラス「ぞうれっしゃがやってきた」      ぞうれっしゃ合唱団有志と大熊一家
- 3 紙芝居「戦争と狛江の子ども達」          小川 長尾 佐久間 広木 大門 約30分  
        読み終わって後 焼夷弾などの説明      佐久間他          約5分

\*空襲記念日のこと・8/18 平和フェスタ・当日合唱の団員募集のお誘いなどをした。

参加者 約70名強（最も多い時で60名ほど）。

感想：

- ・ある程度観客も集まり、楽しかった。          ・マイクは大成功！
- ・屋外で1時間以上も、それもほぼ「聞く」だけ。観客に相当な集中力が集中させる上演者の力が無いと難しいと思われたが、良く乗り切った。
- ・今後も可能な限り実施したいイベント。
- ・絵本は小さいので読み手以外2冊だったが、もっと借りられないか（読み手1冊でも良いとの感想もあり）。紙芝居の絵はA4の大きさを手に持ったが、1組の親子だけでほとんど見ている人はいない。見やすい工夫が必要。
- ・バナーの工夫や紙芝居21枚を飾り付けたらどうか。
- ・来年、噴水が無くなり舞台のみになるが、上演する位置の工夫と椅子等の準備の必要は無いか。
- ・紙芝居「戦争と狛江の子ども達」の立ち消え状態を継承したが、このままでは再び立ち消えになる。
- ・先生や子育て中の方、高校生・中学生など、関心ある市民に継承活動への参加を働きかける必要がある。
- ・中央図書館に残すことを始め、各学校にもう一度レプリカの配布をするように要請する。
- ・品川区では城南空襲の被害が大きく、その現地を歩くことが行われている。狛江でもやれないだろうか？

